

8. 活動事例報告

①地域の団体による寸劇を通じた消費者被害防止に向けた取り組み 『『ぜったい儲かる』悪質な投資話にご用心！』



杉戸町くらしの会

桃太郎を育てているおじいさんとおばあさん。おばあさんが川へ洗濯に行くと、川の上流から大きな桃が流れてきた。「桃太郎のようにかわいい子どもがまた出てくるかも」と喜んで持ち帰り、おじいさんと桃を割ってみたところ「ぜったい儲かるおいしい話」が入っていた。翌日、おじいさんの留守中に紛失した桃を探しているという男（鬼が扮装）が訪ねてきた。人の良いおばあさんは相手をきちんと確かめず自宅に入れて桃を返したところ、お礼に「おいしい話：未公開株の話」を男（鬼）がこっそり教えてくれた。実はこの桃は、おばあさんをだまそうと鬼が仕込んで流したものだ。何も知らないおばあさんは、男（鬼）の巧みな話に乗せられて家計の事情を話してしまい、誰にも相談しないままとうとう未公開株の契約書に捺印、100万円を渡してしまった。

その後に犬・猿・雉がやってきて、同じような手口で騙されたケースが多いようだけど大丈夫？とおばあさんに確認したところ、男（鬼）の連絡先は虚偽、男（鬼）はお尋ね者だったことが判明した。



「う」うまい話を信用しない、「そ」相談する、「つ」つられてすぐに契約しない、「き」きっぱり、はっきり断るの4つのキーワードを用いながら、悪質な投資話に気をつけるポイントを寸劇で楽しく啓発した。なお、この寸劇は平成23年度埼玉県主催の消費被害防止寸劇グランプリ第3位を受賞している。